

# 令和5年度(2023年度)変更事業実施計画について

※.....部が変更部分

## 1 目 的

「地域の資源を活用し、環境と共生する持続可能な地域づくり」を基本理念とする第七次水俣・芦北地域振興計画の基本施策1「水俣・芦北地域への『流れ』の拡大」に基づき、これまで取り組んできた産業振興による地域活性化の流れを更に強化するため、地場企業の支援、農林水産業の振興等、当地域の強みやニーズを活かした取組みを推進する。

地域経済や雇用面で重要な役割を担う地元の企業へ焦点を当て、TSMC 進出も踏まえ、ニーズに対応した支援に取り組むこととし、地域一体となった第一次産業の振興、六次産業化、観光振興等、総合的な産業振興に取り組む。

令和5年度(2023年度)は、引き続き、環境配慮型農業の推進、和紅茶、マガキ、アサリ、林産材をはじめとする地域製品のブランド力の強化、「くまモンファーム」事業による観光素材の磨き上げなどを図るとともに、それらの情報発信及び販路拡大を行う。特に、海外向けの地域製品の販路拡大や観光情報発信などを再開し、主に台湾(TSMC 関係者等)をターゲットに取組みを強化する。

また、令和2年7月豪雨災害により、被災した事業者の収益確保や地域産業一体となった賑わい創出など、地域産業全体の再興に向けた取組みを行う。

## 2 事業内容

### (1) 環境配慮型農業推進事業

農薬や化学肥料に頼らない環境配慮型の農業を地域全体で実践するため、生産者向け栽培技術講習会を開催するとともに、環境配慮型農産物の販路開拓を併せて行うことで環境首都にふさわしい食と農の地域ブランドを確立する。

#### [具体的な取組み]

##### ○環境配慮型農産物実証栽培の推進

- ・アボカド栽培技術専門家による訪問技術指導
- ・環境配慮型農業実践塾の開催

##### ○環境配慮型農産物の販路開拓

- ・環境配慮型の高付加価値農産物の販路開拓

### (2) 異業種間連携・販路開拓支援事業

食や健康の分野において、当地域の優れた地域資源の持つ成分、加工技術、保存技術、地域の伝統文化を活用して、農商工連携・六次産業化による付加価値の高い商品開発を行うとともに、販売戦略の検討、海外を含めた新たな販路の開拓を行うなど、新産業の創出を図る。

#### [具体的な取組み]

##### ○地域製品を活用した新商品開発

- ・地域製品を活用した新商品の開発支援

○展示商談会・都市圏物産展出展

(+1,500 千円)

- ・食に関する展示会・商談会への出展  
(FABEX 東京[4 月, 東京]、ウェルネスフードジャパン[8 月, 東京]、  
FOODEX JAPAN[3 月, 東京])
- ・都市圏物産展への出店（銀座熊本館、新梅田食堂街など）

○地域製品のブランディング・販路開拓

(+824 千円)

- ・地域製品の大都市圏への販路開拓に向けた商品の磨き上げ・販売支援
- ・レストラン等を活用した「水俣・芦北フェア」による販路開拓
- ・地域製品の情報発信・配布用サンプル作成

○海外向け販路拡大

- ・海外展示会・物産展等出展、PR 活動

○和紅茶ブランディング

- ・体験会等による「みなまた和紅茶」普及促進・販路開拓

**(3) 水産物ブランド化支援事業**

地域の特産品になりつつあるマガキやクマモトオイスターの養殖・販路拡大やアサリ資源の再生を実施するとともに、活魚、鮮魚及び水産加工品等の販売を強化するため、地域内の加工所、直売所と連携して、水産物のブランド化を推進する。併せて、次世代の担い手の育成に取り組む。

**[具体的な取組み]**

○マガキやクマモトオイスターの養殖・販路拡大

- ・マガキ稚貝購入・貝毒検査
- ・カキ小屋 PR 広告・宣伝、販路拡大

○アサリ資源の再生

- ・アサリ資源の再生保護（芦北町漁協）

○水産物加工所、直売所における加工品等の試作試験

- ・加工品、飲食メニューの開発

○担い手育成支援

- ・漁業フェア出展、漁師体験ツアー

新

○アジアカエビ試験養殖に係る調査

(+300 千円)

- ・実施体制検討、養殖方法検討に係る情報収集

**(4) 水俣・芦北観光応援社事業**

地域の農林水産業とくまモンがコラボレーションした新たな着地型旅行商品を創出する「くまモンファーム」事業に引き続き取り組むとともに、海外を含めた情報発信等を効果的に行うことで、交流人口を最大化させ、産業振興と雇用確保を図る。

**[具体的な取組み]**

○くまモンファーム事業

- ・農林水産業の体験等の着地型旅行商品の開発
- ・旅行会社等への営業活動

○海外向け営業活動・情報発信

- ・海外旅行会社等への営業活動

- ・SNS、情報誌等への地域観光情報掲載

#### ○情報発信

- ・情報誌等への地域観光情報掲載
- ・SNS、熊本都市圏や県外の地域情報誌を活用した情報発信

### (5) 地元林産材活用推進事業

地域の人工林はこれから本格的な伐期を迎え、今後地域材出荷量の増加が見込まれるため、この機を逃さず地元林産材をより高値で取引できるよう販路や売り方等の検討を行う。

#### [具体的な取組み]

#### ○地元林産材の高付加価値化

- ・展示会への出展、現地商談・視察等
- ・木の駅プロジェクト

### (6) 人材育成事業

地元求人の多い半導体関連産業、福祉医療等の人材育成、就職支援等による雇用創出を図る。

#### [具体的な取組み]

#### ○セミナー開催・受講料の一部助成

(+1,500 千円)

新

- ・求職者向けセミナーの開催 (デジタル人材育成セミナー)
- ・研修受講料の一部助成 (技能後継者・福祉医療関係)

#### ○高校生の就職支援

- ・地元企業による企業説明会の実施
- ・地元企業見学会の実施
- ・就職模擬面接会の実施

#### ○ガストロノミーマネジメントの推進

- ・大学等と連携した出前授業の実施、フィールドワーク受入等

#### ○事務局経費

- ・会計年度任用職員人件費、事務局運営費

### (7) 被災地域産業再興支援事業

令和2年7月豪雨により被災した芦北・水俣地域においては、「地域産業」、「まち」そのものが失われかねない危機に直面していることから、当面の収益確保や地域産業一体となった賑わい創出など、地域産業全体の再興を総合的に後押しする。

#### [具体的な取組み]

#### ○物産館・道の駅を活用した地域特産品送料無料キャンペーン

- ・地域内の物産館・直売所を活用した地域特産品送料無料キャンペーン

## 補正予算（案）について

### （２）異業種間連携・販路開拓支援事業

#### ○展示商談会・都市圏物産展出展（＋1,500 千円）

下半期に開催される展示商談会出展経費の追加。（令和 6 年 3 月「FOODEX JAPAN〔東京〕」）

#### ○地域商品のブランディング・販路開拓（＋824 千円）

各種イベント等で配布できる地元産品のサンプル作成経費追加。

### （３）水産物ブランド化支援事業

#### 新 ○アジアカエビ試験養殖に係る調査（＋300 千円）

令和 3 年度から 2 年間、アジアカエビの試験養殖に取り組んだが、通常の出荷サイズまで成長させることができなかった。

管理体制や養殖施設等に課題があるため、試験養殖を行うための体制整備や先進的な取り組みに係る情報収集を行う。

#### ◇令和 5 年度実施事業

- ・養殖を実施する場所（施設）や管理する人員等の体制検討
- ・温泉水を活用した養殖や環境配慮型完全陸上養殖など、先進的な取り組みについての視察や情報収集

⇒試験養殖の実施体制や養殖方法を見直し、次年度以降に新たな方法で試験養殖を実施する。

### （６）人材育成事業

#### 新 ○デジタル人材育成セミナー（＋1,500 千円）

働き方の多様化が進む中、テレワークは介護や育児・病気治療と仕事の両立が必要な労働者のワークライフバランスの実現に向けた取組みの一つとして注目され、ニーズも高まっている。

在宅勤務に限らず地域内のサテライトオフィス等で働く I T 人材を育成するため、テレワークに興味がある方を対象としたセミナーを実施する。

#### ◇令和 5 年度実施事業

- ・テレワーク入門セミナー（1 回）
- ・テレワークスキルアップ講座（2 講座、全 8 回）

⇒受講者に対して、実際に仕事を受注する方法等についてもフォローアップを行う。